

## HP、クラウドコンピューティング研究施設をオープン



米ヒューレット・パッカード (HP) は、クラウドコンピューティングの最新技術を研究する施設「HP Labs Singapore」を開設しました。広さは 7,000 平方フィート (約 2,000 平方メートル) で、フュージョンポリスの研究開発棟の 14 階に設置されています。

HP はユーザーのニーズに応じて全てのサービスの形を柔軟に変えていく『Everything as a Service (EaaS)』ビジョンを提唱しており、「HP Labs Singapore」を、アジア・太平洋地域でこのビジョンを推進しイノベーションを創出する重要な拠点と位置づけています。HP の投資総額は約 33 億円 (5,000 万 SGD)。クラウドコンピューティングのほか、データセンターやアプリケーションデザインの基本原則を再検証する大規模なプロジェクトにも着手します。

HP シンガポールのタン・エンエン社長は、「シンガポールへの投資は 40 年以上にわたる。新しい研究施設は新技術を紹介する場であると同時に顧客からのフィードバックを取り入れる拠点でもある。アジア・太平洋地域の顧客と共にイノベーションを創出していく」と述べています。

HP は昨年通信会社シングテルと提携し、情報通信開発庁 (IDA) の主導の下、「Alatum」と呼ばれる国内最大の商用グリッドサービスプラットフォームを構築しています。

## 半導体メーカー、米ラティス、アジア拠点をオープン

半導体メーカー、米ラティス・セミコンダクター (Lattice Semiconductor) は、アジア初の事業拠点を中部アンモキオの「テックポイント」工業用ビル内にオープンしました。フラットパネルテレビや携帯電話などの電子製品に幅広く使用されている IC チップを中心とした同社製品の生産を主に行っています。管制塔と位置づけられたシンガポール社は生産管理、パッケージング、テスト開発、信頼性・品質評価などを行います。

ラティスは、アジア事業センターの設立により主な提携先であるアジアのウェハー工場や組み立て・テスト業者と距離が近くなることから、コスト削減と事業効率性の向上を目指しています。ブルーノ・ギルマート CEO は、「アジア事業や物流センターをサプライチェーン活動や顧客の近くに移管することは理にかなっている。製品と顧客との距離が縮むことで、より迅速かつ効率的に顧客に対応できるようになる」と述べています。

新施設の総面積は 421 平方メートルで、従業員数は 17 人。今後 2～3 年以内に、40 人まで増員する計画です。

